

流水の正常な機能の維持に関する事項

ダムによる水量の確保

- 長安口ダム
 - 低水放流管を改造することにより、底水容量を利用するとともに、発電容量を不特定容量に変更。
 - 今後の堆砂量を抑えるため主として長安口ダム貯水池上流において土砂の除去を実施。
- 川口ダム
 - 底水容量の一部をもとに、新たに不特定(利水)容量を確保。

水质保全対策

- 長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置。

河川環境の整備と保全

動植物の生息・生育環境の保全・再生

- 砂レキをダム下流の河道内に運搬し、動植物の生息・生育環境を改善。
- 濁水長期化低減のため、長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置。
- 砂州の固定化、平瀬の減少の原因と考えられている砂州上の樹木を伐採。

河川景観の維持・形成

- 長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置し、濁水の長期化を低減。
- 砂州上の樹木を伐採し、レキ河原の景観を再生。
- 平瀬を再生することで、水面幅を大きくし、雄大な河川景観を再生。

河川空間の利用状況

- 既存の高水敷をより積極的に活用できるよう地元住民と一緒に河川整備を実施。
- 桑野川において地域と一緒にした水辺ネットワークの構築による河川整備を実施。

河川工事の実施における配慮等

【河床掘削(瀬と淵の保全)】

- 瀬と淵の保全等、濁水の発生を抑えるため、平水位以上の砂州の掘削を実施。
- 掘削箇所については、必要に応じて特定種や動植物の重要な生息・生育環境に配慮し、ミチゲーションを実施。

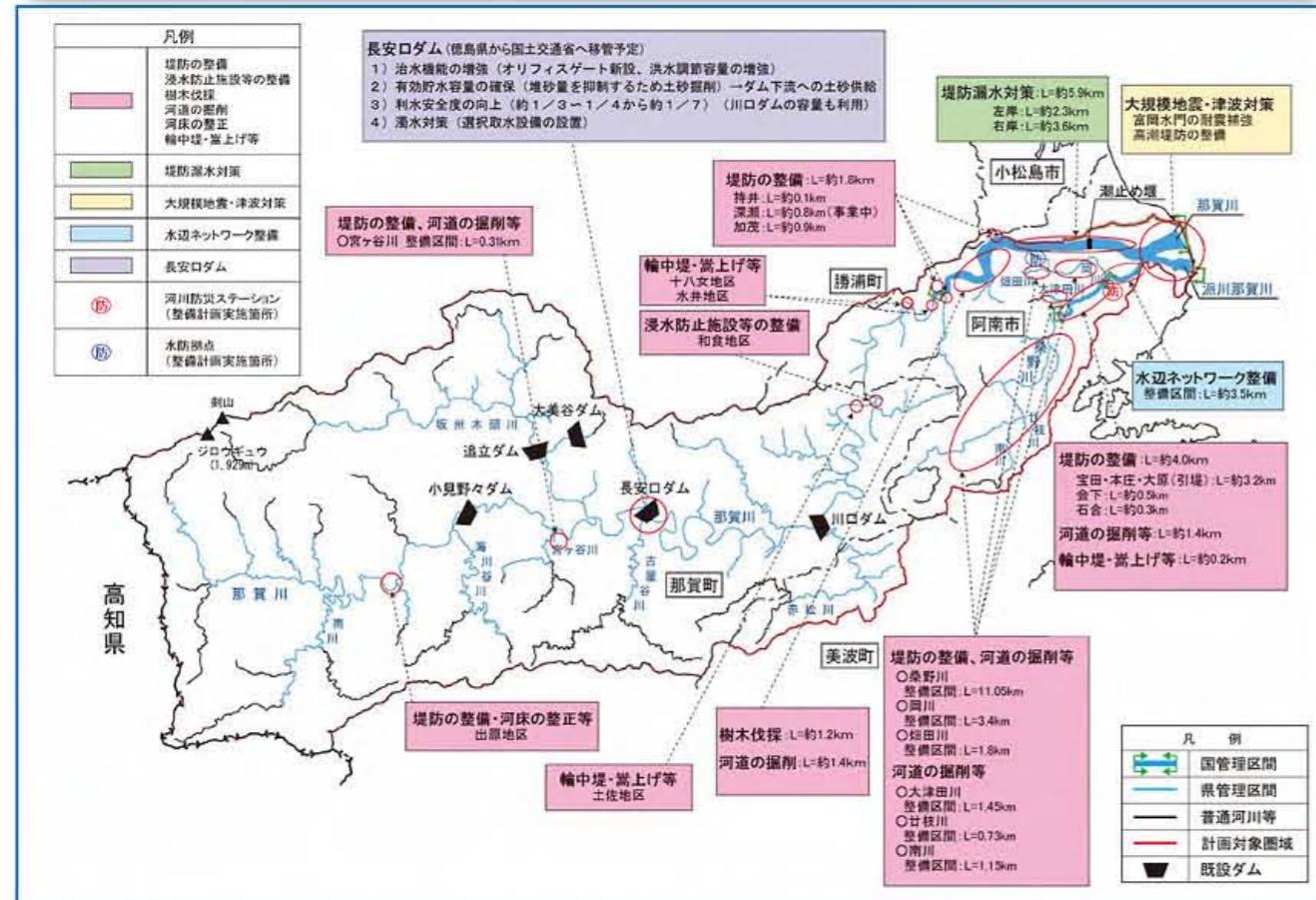
【局所洗掘対策(水際環境の再生・創出)】

- 護岸等の整備は、多自然川づくりの理念に基づき、水生生物の生息・生育環境に配慮して整備。

【魚がのぼりやすい川づくり】

- 那賀川に生息・生育する魚介類の生態を考慮した魚道を設置。

那賀川水系河川整備計画の主なメニュー



本整備計画は、これまでの災害の発生状況、現時点の課題や河道状況等に基づき策定するものであり、河川整備の進捗、河川状況の変化、新たな知見、技術的進歩、社会経済の変化等に合わせ、必要な見直しを行うものである。

那賀川俱楽部

volume
25

平成18年12月2日発行

編集・発行 国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>
〒774-0011 徳島県阿南市領家町室の内390 TEL(0884)22-6461 FAX(0884)22-7062(調査課直通)

那賀川水系河川整備計画【素案】を公表しました。

素案では、「安全で安心できる那賀川水系の未来が拓ける川づくり」を基本理念に、関係機関や地域住民との情報の共有・連携の強化を図りつつ、治水・利水・環境に関わる施策を総合的に展開していくこととしています。

河川整備計画の基本理念

安全で安心できる那賀川水系の 未来が拓ける川づくり

- ◆洪水や湯水に対して心配のない川づくり
- ◆河川環境に配慮し、環境に恵まれた川づくり
- ◆砂レキが復活し、清流が流れる川づくり
- ◆産業が栄える川づくり

相互理解が図られた
地域住民による流域づくり

河川整備計画の対象区間・対象期間

本整備計画は、**那賀川水系の全区間 (国管理区間・県管理区間)**を**対象**に定めるもので、那賀川水系河川整備基本方針に基づき、那賀川の総合的な管理が確保できるよう河川整備の目標及び実施に関する事項を定めるものである。その対象期間は概ね30年とする。



那賀川水系河川整備計画【素案】の概要

■素案はホームページ(<http://nakagawa-mlit.go.jp>)に掲載する他、関係自治体等にて閲覧可能になっております。

河川整備計画の目標に関する事項

洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

洪水を安全に流下させるための対応

河川整備において目標とする流量

河川名	基準地点	目標流量(m³/s)	既設ダムによる洪水調節流量(m³/s)	河道整備流量(河道の整備で対応する流量)(m³/s)	対象洪水
那賀川(国管理区間)	古庄	9,000	500	8,500	昭和25年9月洪水(ジェーン台風)
那賀川(県管理区間)	和食	9,000	800	8,200	昭和25年9月洪水(ジェーン台風)
那賀川(県管理区間)	出原	2,100	—	2,100	
宮ヶ谷川(県管理区間)	那賀川合流点	50	—	50	
派川那賀川及び桑野川(国管理区間)	大原	950	—	950	平成11年6月(梅雨前線)
桑野川(県管理区間)	大原	900	—	900	
岡川(県管理区間)	文化橋	150	—	150	
畠田川(県管理区間)	岡川合流点	80	—	80	
大津田川(県管理区間)	大津田川樋門	50	—	50	
廿枝川(県管理区間)	桑野川合流点	50	—	50	
南川(県管理区間)	桑野川合流点	120	—	120	

局所洗掘への対応

- 堤防整備済区間に於いて、堤脚部の局所洗掘が懸念される区間については、堤防補強等を実施。

堤防漏水への対応

- 堤防整備済区間に於いて、河川水等の堤防への浸透に対して著しく安全性が低い区間については、堤防補強等を実施。

内水氾濫への対応

- 家屋浸水被害が著しい地区について、必要な内水対策を行い、床上浸水被害を解消。

大規模地震・津波等への対応

- 東南海・南海地震による損傷・機能低下に伴い、地震発生後に来襲する津波等に対して必要な対策を実施。

危機管理への対応

- 防災情報の共有を目的とした施設の整備等の必要な対策を実施することにより、被害を軽減。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

流水の正常な機能の維持

- 利水基準点和食において、かんがい期最大32m³/s、非かんがい期最大14m³/sを確保。

河川水の適正な利用

- 利水安全度を現況約1/3～1/4から約1/7向上。

- *利水安全度1/7とは、概ね7年に1回程度起きる需要量の不足分まで補給可能な容量を確保できることを示す。

水質の保全

- 長安口ダムからの放流水の濁水長期化については、発電放流水の水質を改善し、濁りの水質指標である浮遊性物質(SS)の環境基準値(25mg/l以下)が達成できていない日数を1/2程度に低減。

河川環境の整備と保全に関する目標

動植物の生息・生育に関する目標

- 河床状況の変化が魚類等の生息・生育状況に及ぼす影響を把握し、清流と砂レキの復活を目指す。
- 平瀬の再生と清流の復活を目指す。
- 堰等の設置・管理において、魚類等の移動の連続性が確保できるように配慮し、豊かな生態系の保全に努める。

河川景観に関する目標

- 濁水の長期化を低減させ、清流の復活を目指す。

河川空間の利用状況の目標

- 住民が主体となって利用される川づくりを目指す。

国土交通省四国地方整備局および徳島県では、「那賀川水系河川整備基本方針」の策定を受け、「那賀川水系河川整備計画」の検討を進めてきました。この度、整備計画について流域の皆様の様々なご意見をお聴きするために、「那賀川水系河川整備計画【素案】」を作成し、公表しました。

今後、素案に対するご意見をより多くの方々からいただきながら、整備計画の策定に向けて検討を進めて行きたいと考えております。

河川整備の実施に関する事項

洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

那賀川【国管理区間】

洪水を安全に流下させるための対策

【堤防の整備】

- 持井・深瀬・加茂箇所の堤防の整備。
(延長: 約1.8km)

【河道の掘削等】

- 流下断面が不足する区間の河道内樹木の伐採、河道の掘削を実施。
(樹木の伐採: 約1.2km、河道の掘削: 約1.4km)

【ダムによる洪水調節】

- 長安口ダムの治水容量の増強を実施。
- ダム放流能力の増強のため、長安口ダムに洪水吐き(オリフィスゲート)を新設。

局所洗掘対策

- 局所洗掘に対する安全性照査の検討結果から、対策が必要と判断された箇所について、必要な対策を実施。

堤防漏水対策

- 漏水に対する安全性の点検結果から、対策の必要な箇所について、計画的に実施。(延長: 約5.9km)

内水対策

- 熊谷川排水機場(5m³/s)を整備するほか、家屋等の浸水被害が著しい地区について、必要に応じて対策を実施。

大規模地震・津波対策

- 河口部の水門・樋門について、耐震補強等の必要な対策を実施。
- 高潮堤防により津波による被害を防止できるところは、必要な対策を実施。

防災関連施設の整備

- 那賀川防災拠点(仮称)を整備。

那賀川【徳島県管理区間】

那賀川

- 和食地区において、浸水防止施設等の整備。
- 十八女地区、水井地区、土佐地区の狭隘地区において、輪中堤・嵩上げ等を実施。
- 出原地区において、堤防の整備及び河床の整正を実施。

宮ヶ谷川

- 堤防の整備、河道の掘削等を実施。
(整備区間: 0.31km)

桑野川【国管理区間】

洪水を安全に流下させるための対策

【堤防の整備】

- 宝田・本庄・大原箇所の引堤および会下・石合箇所の堤防の整備を実施。(延長: 約4.0km)

【輪中堤・嵩上げ等】

- オワタ箇所において、輪中堤・嵩上げ等を実施。
(延長: 約0.2km)

【河道の掘削等】

- 流下断面が不足する区間の河道の掘削を実施。
(河道の掘削: 約1.4km)

内水対策

- 川原排水機場(5m³/s)、大津田排水機場(10m³/s)を整備するほか、家屋等の浸水被害の著しい地区について、必要に応じて対策を実施。

大規模地震・津波対策

- 高潮堤防により津波による被害を防止できるところは、必要な対策を実施。

防災関連施設の整備

- 那賀川・桑野川河川防災ステーション(仮称)の整備。

桑野川【徳島県管理区間】

桑野川

- 堤防の整備、河道の掘削等を実施。(整備区間: 11.05km)

岡川

- 堤防の整備、河道の掘削等を実施。(整備区間: 3.40km)

畠田川

- 堤防の整備、河道の掘削等を実施。(整備区間: 1.80km)

大津田川

- 河道の掘削等を実施。(整備区間: 1.45km)

廿枝川

- 河道の掘削等を実施。(整備区間: 0.73km)

南川

- 河道の掘削等を実施。(整備区間: 1.15km)